

食品安全委員会（第460回会合）議事概要

日 時：平成25年1月21日（月） 14：00～15：44
場 所：食品安全委員会大会議室
出席者：熊谷委員長ほか6名出席
傍聴者：報道1名、役所2名、一般2名

議事概要

（1）大臣、副大臣挨拶

→森内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）・伊達内閣府副大臣から挨拶が行われた。

（2）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・遺伝子組換え食品等 1品目

チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統、除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統並びにアシルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種

→厚生労働省から説明。

本品目については、遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種であることから、平成23年7月21日食品安全委員会決定「遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種の取扱いについて」に基づき、その取扱いを検討する必要がある、まず、委員長の指名する委員を中心に、「遺伝子組換え食品等専門調査会における調査審議を経ることなく、食品健康影響評価を行う」かどうか検討するため、委員長から山添委員が指名された。山添委員を中心に検討した結果を、後日、委員会に報告することとなった。

（3）農薬専門調査会における審議結果について

- ・「γ-BHC（リンデン）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「プロパクロール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「モリネート」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書（案）について、意見・情報の募集手続に入

ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答（案）の作成及び評価書（案）への反映を農薬専門調査会に依頼することとなった。

（４）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

- ・「マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（アジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（エムパック）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（カルボキシビニルポリマーアジュバント・油性アジュバント加）不活化ワクチン（レスピフェンドMH-One FDAH）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書（案）について、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答（案）の作成及び評価書（案）への反映を動物用医薬品専門調査会に依頼することとなった。

（５）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

- ・「ダノフロキサシン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の三森委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書（案）について、一部修正の上、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答（案）の作成及び評価書（案）への反映を肥料・飼料等専門調査会に依頼することとなった。

（６）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

- ・添加物「硫酸カリウム」に係る食品健康影響評価について
- ・添加物「乳酸カリウム」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「硫酸カリウムについては、「添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、添加物「硫酸カリウム」の一日摂取許容量（ADI）を特定する必要はない。」、「乳酸カリウムについては、「添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考え、添加物「乳酸カリウム」の一日摂取許容量（ADI）を特定する必要はない。ただし、乳幼児向け食品に添加物「乳酸カリウム」並びに乳酸及び乳酸塩類を主成分とする添加物を使用する場合、代謝性アシドーシスをもたらす懸念があるため、適切な措置が講じられるべきである。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

- ・農薬「フェントエート」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

「フェントエートの一日摂取許容量（ADI）を0.0029mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

（7）食品安全関係情報（12月1日～12月20日収集分）について

→事務局から報告。

OIEが12月18日に公表した「ブラジル農牧供給省から受理したBSE続報1号」、ECが12月13日に公表した「健康と畜牛における新たなBSE検査体制に関するプレスリリース」及びBfRが11月23日に公表した「食品が関与する動物由来感染症の管理の進展及び新たな課題に関する意見書」の概要を報告。